

小料理屋の主人して、殺し屋。
市川雷蔵主演の純和風ハードボイルド。

クラシック・シネマ

『ある殺し屋』

市川雷蔵の現代劇の代表作。スターのオーラを完全に消し去り、裏街道を歩く孤高の殺し屋を演じる雷蔵は時代劇出演時にはない魅力を発散。全盛期の大映映画ならではの丁寧な絵作りと落ち着いた語り口も見どころです。

昭和三大和装美女が華を競う！
泉鏡花原作による日本橋芸者の愛と哀しみ…

クラシック・シネマ

『日本橋』

溝口健二も映画化した泉鏡花の小説に名手・市川崑が挑戦。持ち前のスタイリッシュな絵作りを見せる一方、芝居どころではじっくりと女優たちの演技を凝視。女優それぞれの魅力を最大限に引き出していきます。日本映画黄金期の映画らしい大掛かりなセットも見ものです。

浅丘ルリ子が初めてスクリーンに裸身をさらした
映画出演100本記念作。

クラシック・シネマ

『執炎』

浅丘ルリ子映画出演100本を記念して、恋の噂をあった蔵原惟繕監督のメガフォンで描かれる海の青年と山の女の愛と哀しみの年代記。純度100%の女優映画(サラリとオールヌードまで披露)。陰影に富んでモノクロ撮影による自然描写はハッとするような素晴らしさ！

まともな人間だったら絶対に入部しない！
それが応援団。シリーズ第3弾

クラシック・シネマ

『嗚呼!! 花の応援団 男涙の親衛隊』

その過激なギャグセンスで一世を風靡したコミックの映画化。当時をしてすでにアナクロと呼ばれた応援団(それも三流大学の)の暴力的な日常を下品なユーモアでスケッチしつつ、クライマックスに強引な感動を用意してまとめるという、安っぽくも男気溢れる一作。

昭和の歌姫“スパーク三人娘”がウルトラキュート！
明朗快活の昭和の青春映画！

クラシック・シネマ

『ハイハイ三人娘』

中尾ミエ、伊東ゆかり、園まり。“スパーク三人娘”が歌って踊るリズムカルな明朗青春篇。クレージーキャッツ他のゲストたちも一曲ずつ見せ場が用意されていて、ながら昭和の歌謡バラエティのような楽しさ。クライマックスのウエストサイド風のレビューはサイコー！